



期間

令和8年 11月14日(土)～令和9年 1月9日(土)[全5回]

実施
場所

八幡西生涯学習総合センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 (コムシティ3階) (29ページアクセス参照)

申込・
問合せ先

生涯学習総合センター

〒803-0811 小倉北区大門1-6-43
TEL: 571-2735 FAX: 571-0943

時間

13:00～15:00

応募締切

10月25日(日)

スマートフォンからも
お申込みできます▶

定員 20名

受講料 2,000円

受講生への
メッセージ

コーディネーター：一般社団法人まちはチームだ(元・小倉城庭園 館長) 中川 康文

北九州は好き。でも、その魅力を言葉にするのは意外と難しい。そんなふう感じたことはありませんか。

本講座では、門司・小倉・若松・八幡・戸畑に残る歴史や文化を掘り下げながら、地域への理解を深めます。万葉集の舞台となった古代の北九州、関門海峡をめぐる中世の物語、江戸時代の知られざる事件、近代化を支えた産業の歩み、そして現在進む観光都市への挑戦まで、教科書には載らない「ちょっとディープ」な話題を、各分野の専門家が分かりやすく紹介します。

普段何気なく見ている景色や地名も、歴史を知ることによって違って見えてくるはずです。知れば誰かに話したくなる北九州の魅力に出会い、このまちをより深く知り、自信を持って語れるようになるきっかけとなる5回講座です。

中川 康文

北九州市を拠点に、観光・文化・創業支援、地域づくりに取り組む。北九州市や城下町小倉エリアの企画運営を通じ、まちの魅力を発信し続けている。

回数	月 日	テーマ・内容	担当講師
1	11/14 (土)	「古代」北九州の地名と万葉集 ～小倉城庭園より～ 万葉集の舞台にもなった北九州。何気なく使っている地名の中には、1300年以上前の人々の暮らしや風景が息づいています。小倉城庭園周辺の歴史を入り口に、古代北九州の魅力をひもといていきます。	中川 康文
2	11/28 (土)	「中世」関門海峡の歴史 ～細川忠興と村上水軍～ 細川忠興が築いた小倉城。その歴史には、関門海峡で活躍した村上水軍が関係していた・・・!? 海の要衝だった北九州ならではの知られざるつながりから、中世の歴史をひもときます。	郷土史家 小野 剛史 1956年、福岡県京都郡犀川町(現・みやこ町)に生まれる。苅田町職員となり、長い間、広報を担当。苅田町合併50周年記念誌『軌跡かんだの歴史』(2005年)を編集・執筆。美夜古郷土史学校、かんだ郷土史研究会、苅田山域研究会。
3	12/12 (土)	「近世」白黒騒動 ～江戸時代の黒崎と小倉～ 小倉城の「しろ」と黒崎の「くろ」。その名にちなんだような「白黒騒動」は、小笠原家を巻き込んだ江戸時代の大事件でした。豊前国と筑前国をまたぐ意外なつながりから、北九州の歴史を深掘りします。	歴史案内人 瀬戸 春巴 小倉生まれ、小倉育ち。本業の建築デザイン・不動産業に携わる傍ら、古地図や史料をもとに小倉の歴史を研究。古地図を使った街歩きや歴史案内人などを通じ、「歴史の知識だけでなく、歴史を感じる楽しさ」を伝えている。
4	12/19 (土)	「近代」北九州の明治、大正、昭和 ～関門海峡の謎～ 近代化をひた走った北九州。その裏には、教科書には載らない面白い話がたくさんあります。 戦艦大和と関門海峡の意外な関係など、近代北九州を彩るエピソードから、まちの魅力を再発見します。	歴史案内人 瀬戸 春巴 小倉生まれ、小倉育ち。本業の建築デザイン・不動産業に携わる傍ら、古地図や史料をもとに小倉の歴史を研究。古地図を使った街歩きや歴史案内人などを通じ、「歴史の知識だけでなく、歴史を感じる楽しさ」を伝えている。
5	1/9 (土)	「現代」観光都市北九州へ ～すしの都と小倉城～ 小倉城や皿倉山には多くの観光客が訪れるようになりました。そして北九州には、全国に誇れる歴史や文化、そして豊かな食があります。 「すしの都」をはじめとした取り組みを通して、北九州が目指す観光都市の未来を考えます。	中川 康文